



教皇フランシスコからのメッセージ (要約)

【2018年 四旬節メッセージ】

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

四旬節です！ (わたしたちの回心の秘跡的しるし)

- ◆生活のあらゆる側面で心の底から主に立ち帰りましょう。
- ◆恵みのとき。
- ◆喜びと真理のうちに過ごしましょう。

「不法がはびこるので、多くの人の愛が冷える」(マタイ 24・12)

「偽預言者たちが多くの人を惑わし、福音全体の中心である愛が人々の心から消える恐れがあります。」



偽預言者はどんな姿をしているのでしょうか？



心の中から愛が消えてしまう危険を表す兆候は？

◆人間の感情を操る「蛇使い」

→一時的な楽しみを幸福と取り違えさせる…
金銭という幻想に夢中にさせ…孤独に…

◆「詐欺師」

→苦しみに対して、簡単で手短な解決策…
誤った治療 (麻薬、「用が済めば切り捨てる」
人間関係、安易だけど不正な利益)…価値のない
ものを与え、本当に大切なもの (尊厳、自由、
愛する力) を奪う

識別、見極める、良いしるしを見分ける
すべを学ばなければなりません！

◆金銭欲

→神を拒むようになる…孤立した状態を好むよう
になる…自分にとって「確かなもの」を脅かすように思わ
れる人 (胎児、病気を患う高齢者、移動者、外国人、自
分の期待にそぐわない隣人) に対する暴力を引き起こす

◆被造物に現れる兆候：無関心と利益追求のために捨て
られた廃棄物、難民の遺体で覆われた海、死の道具を降
らす兵器の筋が残る天空

◆共同体の中での兆候：怠惰な利己主義、実りをもたら
さない悲観主義、孤立願望、互いに争い続けたいという
欲望、表面的なものにしか関心をもたない世間一般の考
え方

What to do? 何をすれば良いの？

熱意を持って四旬節の歩みを進めましょう

「これまで述べてきたしるしをわたしたちが自分自身の内面や周囲に見つけたとしても、母であり師である教会は、この四旬節の間、祈りと施しと断食という美味しい薬を、時には苦い真理の薬と一緒に与えてくれます。」

祈り



PRAY

- ◆自分自身をあざむく隠れた嘘を暴く
- ◆神の慰めを最終的に探し求める
- ◆わたしたちの父である神は、わたしたちが生きることを望んでいる

施し



GIVE

- ◆欲深さから解放し、隣人が自分の兄弟姉妹であることに気づかせる
- ◆教会に息づく交わりの具体的なあかし
- ◆一つひとつの施しは、ご自分の子どもに対する神の摂理にあずかる機会

断食



FAST

- ◆私たちの内にある暴力を鎮め、武装を解く
- ◆必要最低限のものさえ不足する状態や、空腹に見舞われる日々の苦しみの体験
- ◆神のいのちへの渴望
- ◆神と隣人にさらに心を向ける

「心を開いて神に耳を傾けようとしている善意あふれる皆さんに、カトリック教会の垣根を越えてわたしの声を届けたいと思います。もし皆さんが、わたしたちのように、この世に不正がはびこっていることに心を痛み、人々の心と行いを麻痺させる冷淡さに懸念を抱き、共通の人間家族の一員であるという意識が弱まっていると感じているなら、わたしたちと一緒に神に祈り、ともに断食し、兄弟姉妹を助けるために自分にできることを行いましょう。」



たとえ多くの人々の心から愛が消えそうになっても、神の心がそうなることは決してありません。…わたしたちが再び愛し始められるように、新たなチャンスを常に与えてくださいます。

【主にささげる 24 時間】

聖体礼拝においてゆるしの秘跡を受けることが望まれます。2018 年には、「ゆるしはあなたのもとにあり」という詩編 130 編 4 節の中のことばに導かれながら、3 月 9 日金曜日から 10 日土曜日までこの取り組みを行います。

【復活祭の炎】

再び灯す復活のろうそく、感動的な光の祭儀…「輝かしく復活したキリストの光が、心のやみを照らしますように」…
みことばに耳を傾け、聖体によって育まれ、わたしたちの心が信仰と希望と愛によって再び燃え立ちますように。

「わたしは心から皆さんを祝福し、皆さんのために祈ります。どうか忘れずに、わたしのために祈ってください。」
フランシスコ